

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和2年度)

2. 分野別状況(2)地域活性化総合特区 ①グリーン分野(1/5)

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
あわじ環境未来島特区 (兵庫県、洲本市、南あわじ市、淡路市)	4.6	4.3 進捗度 ・エネルギー(電力)自給率 106% ・二酸化炭素排出量 119% ・再生可能エネルギー創出量 98% ・竹燃料の消費量 22% ・新規就農者数 81% ・再生利用が可能な荒廃農地面積 111% 等	4.6 規制の特例等 ・太陽光発電施設の系統連係に係る迅速な手続の明文化 等 地域独自の取組 ・住宅用太陽光発電システム設置費補助金 ・定住促進事業 等	4.8	<p>・事業開始より高い成果を挙げている再生可能エネルギーをはじめ、全体的に順調に推移している。</p> <p>・太陽光、風力だけでなく、竹チップや農業廃棄物のバイオマスまで展開した再生可能エネルギー事業、地域新電力事業、うちエコ診断やEVなど需要側の取り組み等幅広く優れた取組が行われており、国がカーボンニュートラルを進める上での重要施策である脱炭素先行地域のモデルとなり得る。</p> <p>・評価指標(2)のCO2排出量は、国の目標値が引き上げられたことから、再設定が望まれる。</p> <p>・検討されているFS調査について、玉ねぎなどの野菜加工残渣と下水汚泥との混合メタン発酵の下水処理場併設型の検討は、下水処理場の既設インフラ排水処理能力活用の観点からも有意義。別途、実証研究に取り組まれているバイナリー発電の冷却熱源としての下水処理水の活用など複合的な利用も期待される。</p> <p>・定住人口に加えて交流人口の代替指標による評価が必要。また、再生可能エネルギーの活用、農業振興で着実な成果が上がっており、次の展開のための地域電力事業、交流人口増大の取組と評価を期待。</p> <p>・系統連系の手続きの短縮について制度変更に加えて自治体側の働きかけの内容等について説明を期待する。</p>

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和2年度)

2. 分野別状況 (2)地域活性化総合特区 ①グリーン分野(2/5)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
レアメタル等リサイクル資源特区 (秋田県)	4.5	4.3 進捗度 ・環境・リサイクル関連企業の製造品出荷額 103% ・特区に搬入されたリサイクル対象となる家電等金属系使用済製品(廃基板等の副産物を含む)の搬入量(国内、アジア地域) 74%	4.1 財政支援等 ・廃太陽光発電パネルの広域収集網の構築に係るモデル事業 地域独自の取組 ・環境調和型産業集積支援事業等	4.8	<p>・新型コロナウイルス感染拡大で操業や集荷の影響を受ける中、所定の目標値を上回る環境・リサイクル関連企業の製造品出荷額を確保されたことが評価される。</p> <p>・廃太陽光システムリサイクルネットワーク構築推進に向けた知見の蓄積も優れた取組であり、さらなる発展を期待する。</p> <p>・令和2年度はコロナ禍の影響を受け使用済み製品の搬入量は減少したが、その間もステイホームなど生活環境の変化に対応して小型家電の回収運搬等にかかる現状と課題の整理が行われていることは評価できる。</p> <p>・エネルギーシステムでの脱炭素化に加え、製品製造段階、とりわけ金属素材の回収・リサイクルに伴うCO2削減は重要と認識されるので、共同回収のためのプラットフォーム構築など、より効果的な回収方策の検討や、さらに未回収の潜在的な金属資源の調査に期待したい。</p> <p>・小型家電リサイクル法の制定・施行に加えて、追加的な規制の弾力的運用等についての検討も期待したい。</p>

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和2年度)

2. 分野別状況(2)地域活性化総合特区 ①グリーン分野(3/5)

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
次世代エネルギー ・モビリティ創造特区 (豊田市)	4.4	4.3 進捗度 ・再生可能エネルギー(太陽光、小水力等)の地産地消費率の向上 225% ・モビリティの活用によるCO2の削減(運輸部門) 94% ・市域経済の成長 90% ・市民満足度の向上 -%	4.4 規制の特例等 ・HEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)を介したスマートフォンによる遠隔操作 財政支援等 ・人がつながる”移動”イノベーション拠点 ～高齢者が元気になるモビリティ社会～ 等 地域独自の取組 ・豊田市エコファミリー支援補助金 等	4.5	<p>・評価指標だけでなく、CO2フリー水素の活用、EVバスの自動運転の実証、とよたエコフルタウンでの新型コロナウイルスに対応した新しい生活様式の定着に向けたプロジェクトへの取組なども行っていることから、著しく優れていると評価できる。</p> <p>・住まい、自動車、企業、市民意識と広範にわたる取組である。</p> <p>・地域独自のスマートハウス減税などの効果的な情報提供が実を結んだことが評価される。</p> <p>・潜在力の高い既築物件へのリフォームによるスマートハウス化の取組にも、期待したい。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症による影響の中、リモートでのとよたエコフルタウンガイドツアーやオンラインでのSDGs国際会議などによる遠隔でのPR、在宅避難体験ガイドなどの災害対応の取組も有意義。</p> <p>・インドネシア、バンドンでの介護の活用に資する弾力的な制度運用に基づく取組が今後も継続し、さらなる発展に寄与することを期待したい。</p> <p>・企業・工場誘致関係の数が伸び悩み気味であることについてどのように評価しているのか。</p>

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和2年度)

2. 分野別状況(2)地域活性化総合特区 ①グリーン分野(4/5)

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
ながさき海洋・環境産業拠点特区 (長崎県、長崎市、佐世保市、西海市)	4.1	4.1 進捗度 ・県内造船所による高付加価値船・省エネ船の建造量 85% ・県内造船所による環境関連機器の取扱件数 82% ・海洋再生可能エネルギー実証プロジェクト実施件数(累計) 100% 等	4.1 財政支援等 ・燃料電池船技術評価FS事業 地域独自の取組 ・ものづくり支援補助事業 ・海洋エネルギー関連産業集積促進事業 等	4.0	<p>・厳しい状況におかれているが、海洋再生可能エネルギーの導入促進という追い風もある中で、今後の発展に向けた優れた取組を行っている」と評価できる。</p> <p>・省エネ船、水素船、洋上風力発電は我が国がカーボンニュートラルを達成する上で重要な技術であるだけでなく、世界のカーボンニュートラルに日本が貢献できる可能性の高い分野でもあり、大変タイムリーな取組となっており、さらなる取組の強化が期待される。</p> <p>・コロナ禍での不確実な部分を除いて、クルーズ船を含む修繕船事業へのシフトに対して保税工場の修繕、改造(改修)資材での活用に加え、部分改修での高付加価値化、省エネ化、環境関連機器の取扱が何らか見込めるのかについての検討も、期待したい。</p> <p>・関税法、環境アセスメントの規制の弾力的運用等について協議を進めている。燃料電池FS事業等の活用を期待する。</p> <p>・修繕船事業へのシフトに伴い、例えば保税倉庫や保税工場を海洋再生可能エネルギー設備の海外製部品の組立加工等にも使える可能性が生じるなど、事業変化に伴う造船業の生産ストックの潜在能力活用につながる取組の検討などにも期待したい。</p> <p>・海洋再生可能エネルギーの利用発電については、五島沖に加えて西海市江島沖の促進区域に向けた協議の進展に期待。</p>

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和2年度)

2. 分野別状況(2)地域活性化総合特区 ①グリーン分野(5/5)

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
柏の葉キャンパス「公民学連携による自律した都市経営」特区 (千葉県柏市)	4.1	4.2 進捗度 ・各主体の参画による活動の活性化 104% ・新ビジネス創造と地域経済の活性化 102% ・AEMSを活用した環境配慮型都市の確立 179% ・先進的・包括的健康・介護サービス体制の構築 66% ・虚弱予防活動の展開 72%	4.0 規制の特例等 ・訪問リハビリテーション事業所整備推進事業 ・歯科衛生士等居宅療養管理指導推進事業等 地域独自の取組 ・訪問リハビリテーション事業所及び介護予防訪問リハビリテーション事業所整備推進事業に係る医師の配置要件の緩和等	4.0	・コロナ禍の影響で数値目標が達成されていないと考えられる評価指標があり、この状況が長引くことも予想される中、社会の変化に対応した取組を期待したい。 ・CO2排出量の削減率の数値目標は、国の目標値が引き上げられたことから、見直しが望まれる。 ・特に都市経営と地域エネルギーの分野におけるマネジメントの枠組みが優れている。 ・平成23年度のAEMSの金融支援の事業効果が当該年度に発現したことについて追加的な説明を期待したい。 ・パーソナルデータに配慮した独自のデータプラットフォームの特徴を活かしつつ、都市経営、エネルギー、健康の3軸のデータが繋がることで生み出される新たな価値創造の実践に期待したい。 ・グリーン・イノベーション分野では、MBR(予測エンジン)やIoTセンサー、プラットフォームなど高度なデータ活用によるAEMSの進化への取組に期待したい。